

部活動の活動方針

千葉市立 みつわ台中学校

校長名 山田 雅一

<p>教育目標</p>	<p>・学校教育目標「心身ともに健康で人間性豊かな生徒の育成」 上記の目標の具現化に向けて、よりよい部活動の運営を目指す。</p> <p>【部活動の教育的意義】 部活動は、学校教育の一環として、スポーツや文化および科学等の楽しさや喜びを味わい、生涯に渡って豊かなスポーツライフを継続したり、文化的活動に親しみをもったりする資質や能力を育てる役割を果たしていると考えられる。 また、体力や技術の向上だけでなく、自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成することを目指すし、学級や学年を離れて仲間や指導者と密接に触れ合うことにより、学級内とは異なる人間関係の形成が生まれ、社会性を養うことを目標とする。</p>
<p>部活動の 基本方針</p>	<p>①適切な指導 生徒が技能や記録の向上等それぞれの目標を達成できるよう、競技種目や文化的活動の特性等を踏まえた科学的トレーニングを積極的に導入し、短時間で効果が得られる指導を行う。</p> <p>②適切な活動時間 成長期にある生徒の運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を保障するため、一日の活動時間の目安を設定する。 ・平日では2時間程度、休日では3時間程度とする。 ・週当たり2日以上休養日を設ける。 (平日、休日それぞれ1日以上が望ましいが、大会参加等各部の事情を考慮する場合がある。) ・生徒が十分な休養を取り、運動部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう以下のオフシーズンを設ける。 令和7年8月のお盆期間中(学校閉庁日中) 令和7年12月～令和8年1月の年末年始(学校閉庁日中)</p> <p>③事故防止 顧問の教員は生徒の活動に立ち会い、直接指導することを原則とする。もし立ち会えない場合には、他の顧問の教員と連携・協力を図る。 指導者は生徒の発達段階、体力、技能の習得状況を把握し、無理のない練習となるよう留意する。 気温が高い日については、屋内外を問わず、顧問の教員がWBGT計の値等を参考にし、活動内容の変更や中止を検討し、熱中症の予防に努める。</p> <p>④保護者との連携 年度初めの保護者会での説明を通して、年間の活動方針や部費の執行計画について理解を得る。その後の活動についても、すぐー等を活用して連絡を密接にとつていくよう心掛ける。</p>